

ふるさと納税

2年度にいただいた「ふるさと納税」の返礼品別件数と市民サービスの向上を図るため、基金として積み立てを行った金額や活用状況をお知らせします。

令和2年度のふるさと納税は、1億5884万4909円の納税額となりました。返礼品としては、お米、果実、肉の人气が高く、お米はコシヒカリ、果物はリンゴやシャインマスカット、肉は黒毛和牛の切り落としといった返礼品に人気が集まりました。

また、コロナ禍に対応した返礼品として、布マスクの返礼品を加えたところ、予想以上の反応がありました。

平成30年度から、ふるさと納税を財源に、基金の積み立てを開始しました。子育て環境の整備や、教育文化スポーツの振興、災害対策など、さまざまな行政サービスに対する基金を積み立てています。令和2年度は、小中学校の教育活動支援事業などに基金を活用しました。



【基金の年度末残高】

年度	子育て応援基金	教育文化スポーツ基金	災害対策基金	合計
H30	4,000万円	2,000万円		6,000万円
R1	6,027万円	411万円	2,100万円	8,538万円
R2	1億734万円	4,049万円	2,635万円	1億7,418万円

※その他：加工品、調味料、生き物、麺、ジュース、水、チケット、卵、マスク など

●総務部 財政課
☎81-2118

「私のできること」が「誰かを支える力」に。

隣サポーターの活動を紹介します
「石崎ハッスルズ」



隣サポーターは、地域の支え合い活動応援講座を修了し、それぞれができることを生かして、軽度な生活支援や居場所づくり、移動支援などの活動をしている住民ボランティアです。

主に60歳以上の方が活動しており、サポーターの活動が誰かを支える力となり、相手の笑顔や感謝の言葉が、サポーター自身の笑顔といきがいにつながっています。今回は、7月に講座を修了し、活動を始めたサポーター団体を紹介します。

年を重ねてもみんなが笑顔で暮らせるまちを目指して「石崎ハッスルズ」

9月から、隣サポーターの活動の一つとして地域の居場所づくりを行っています。船引地区の石崎集会所で毎週木曜日の午前中に開催し、布ダンベルを工作し体操に使ったり、脳トレやおしゃべりを楽しんだり、誰もが気軽に集い楽しく過ごせる場となるよう活動しています。

広報紙で隣サポーターの活動を知り、「将来自分でできていたことが急にできなくなったら、誰に助けてと言ったらいいんだろう」と、そして自分たちの地域でもひとり暮らしや高齢世帯が増えていると感じた皆さん。決して人ごとではないことと、地域の将来を考え、「そんな支え合いの活動があった方がいいよね」と、以前から取り組んでいた運動サロンの仲間と講座を受講しました。

居場所づくりを始めたのは、船引フォーラムの居場所（船引地区上町）に参加したことがきっかけです。交流の場では自然な支え合いが生まれ、かご作りやおしゃべりなど、参加者同士で共有した時間は楽しく、自分たちの地域でもやってみようという仲間とアイデアを出し合い活動を始めました。

主要3事業の評価検証報告



▲新市民病院建設地※中央奥は建設中の新船引保育所

市では、これまでに進められていた市民病院及び厨房施設整備事業、都路町複合商業施設整備事業、道の駅整備事業の3つの公共事業について、これまでに寄せられた市民の声や情勢分析に基づき、事業のあり方について、評価と検証を進めてきました。

その結果により、各事業は、別表のとおり方向性を定めました。今後は、決定した方向性に沿って事業を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

事業の持続可能性を重視

事業名	方向性
①市民病院及び厨房施設整備事業	必要不可欠な事業と判断し、事業を継続する。 なお、持続性のある病院運営や財政負担等は引き続き整理、検討する。
②都路町複合商業施設整備事業	必要な事業と判断し、地域の方々のご理解を得ながら、都路町の振興に寄与し、継続性のある施設となるよう再検討する。
③道の駅整備事業	施設の必要性は認められると判断し、事業を継続するが、多大な事業費の財政負担への懸念から、現整備計画での事業継続は困難と考えられることから、整備内容を再検討する。

最初は不安もありましたが、「楽しく過ごす様子を見て、きっと興味を持ってくれる。まずは自分たちが楽しもう！」と活動を始めました。今では、その場に来てくれた人たちが、帰り際に「ここに満足した顔で」「楽しかった、また来ようね」と話す姿を見て、やって良かったと感じています。

石崎ハッスルズの皆さんが活動で大切にしていることは、「チームワークとアイデアを出し合い楽しく活動すること」です。サポーターも参加者であり、交流したりボランティアをしたりする場所があることで、自然に支え合っていると話しています。自分たちの居場所にもなっており、ここに行くことが健康の秘訣になると笑顔で話していました。

◆石崎ハッスルズ
毎週木曜（祝日等を除く）
午前9時30分～11時30分
石崎集会所で活動中
☎保健福祉部 高齢福祉課
☎82-1115

フレイル予防の取り組みが再開！

感染予防のため過剰に「動かない・出かけない」生活が長く続いたことで「二次的な心身の悪影響」が起っています。

市ではコロナ禍でも、体と心、頭のフレイル予防ができるよう、10月10日、市総合体育館で『いきいき田村元気フェスティバル』を開催しました。来場者の皆さんだけでなく、ご協力くださった各種団体も基本的な感染予防を徹底しつつ、楽しく健康長寿の秘密を学びました。

「会場が遠くて参加できなかった…」そんなあなたへ公民館などを会場に冬の運動不足解消にぴったりの講座が開催されます。ぜひご参加ください。◀ベジエック（野菜摂取量測定）を受ける参加者



はじめよう！ながら脳活

すきま時間で脳と心を鍛えよう

日時	会場	定員
12/3 (金) 13:30～15:00	滝根体育館	各会場 30人
12/13 (月) 13:30～15:00	大越公民館 2階大研修室	
12/16 (木) 13:30～15:00	都路公民館 3階ホール	
12/17 (金) 13:30～15:00	文化の館 ときわ	
12/20 (月) 13:30～15:00	市役所1階 多目的ホール	50人

- 対象
運動サロン参加者、いきいき健康サポーター、フレイル予防講座受講者、健康づくり・介護予防に関心がある方
- 持ち物
動きやすい服装、水分、上履き、タオル（手ぬぐいサイズのもの）
- 申込
各回開催日の前日まで（または前の週の金曜日まで）に、高齢福祉課へ電話でお申し込みください。☎82-1115